

有害プランクトン情報（第2報－5）

福岡県水産海洋技術センター
令和6年7月25日

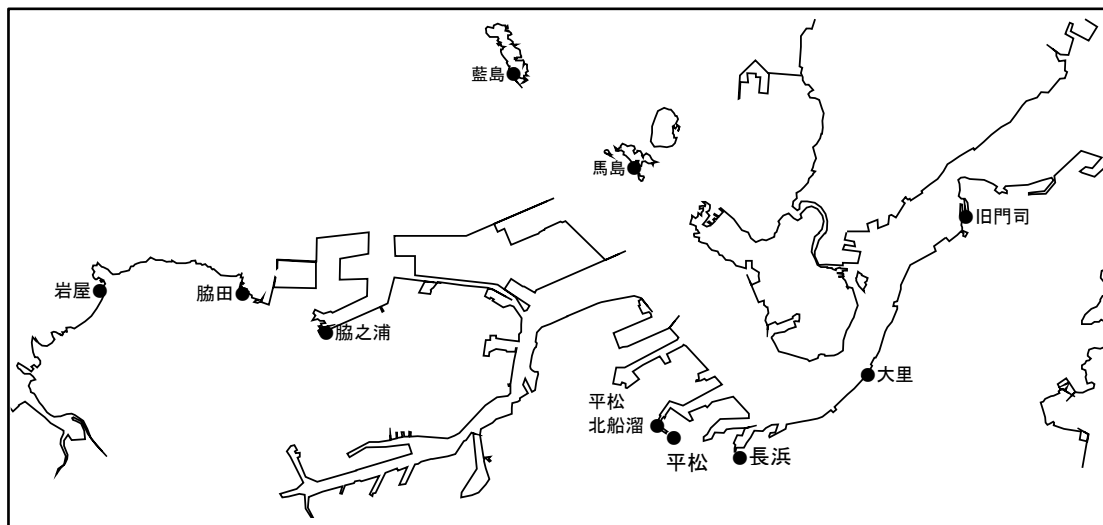
7月25日に北九州市内の港の海水を調査した結果、有害プランクトンのカレニア・ミキモトイが引き続き確認されました。

カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、数千細胞を越えると魚介類がへい死することがあります。特にアワビ等では、より少ない細胞数でもへい死することがあります。

カレニア・ミキモトイは減少していますが、局所的に高濃度になることがあります。そのため、船艙での活かしや港内での蓄養には注意が必要です。魚介類に異常が見られた場合は鮮魚出荷に切り替えるなどの対応を取ってください。

センターでは引き続き調査を行いますので、今後の情報に注意してください。

調査結果（7/25）



調査点	1mlあたり細胞数	調査点	1mlあたり細胞数
旧門司	0	藍島	3
大里	0	馬島	4
長浜	7	脇之浦	0
平松	2	脇田	0
平松(北船溜)	1	岩屋	0

連絡先 福岡県水産海洋技術センター
漁業環境課 江頭・江崎・池浦
092-806-0884